

事業名 亀田郷 — 人と水との歴史を学び、都市と自然との共生を考える

(にいがた市民大学 新潟学コース 地域連携講座)

目的 かつて「地図にない湖」と呼ばれた亀田郷における水との闘いや、治水事業から緑の大地に発展させた先人のフロンティア精神に学び、豊かな自然との共生を考える。

実施主体 新潟市亀田地区公民館・新潟市生涯学習センター

参加対象 新潟市民

参加者数 57名(延べ283名)

回数 6回 **日数** 6日 **時間** 13.5時間

会場 亀田市民会館、亀田郷土地改良区、江南区木津賀茂神社、満願寺閘門ほか

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月30日(土) 14:00~16:00	解明が進む亀田砂丘と周辺低湿地の遺跡群	新潟市歴史博物館 館長 甘粕 健
	内容・方法	亀田砂丘は縄文時代の遺跡であるが、砂丘外の海拔0メートル以下からも多くの遺跡が分布している。発掘の成果から生活のルーツを探る。	
2	9月6日(土) 14:00~16:00	在郷亀田の生成 ~新潟湊-栗ノ木川-亀田 その船運による交流~	亀田郷土資料館 館長 三村 哲司
	内容・方法	現在に残る亀田の市が新潟湊の発展の影響を受けて成立し、船運と砂丘の小道の結節点として交流の中核的役割の担ってきたことを理解する。	
3	9月13日(土) 14:00~16:00	水害との闘い	亀田郷土資料館 館長 三村 哲司
	内容・方法	「木津切れ」「曾川切れ」など、水害常襲地帯に位置する旧亀田郷の人々の協力、確執、争いをとおして組織を改編、発展させ、水害予防事業を遂行させてきたことを知る。	
4	9月20日(土) 13:00~16:30	※現地学習 水害から地域を守る	見学施設 亀田郷土地改良区資料館、芦沼館、木津切れ石碑、賀茂神社の大ケヤキ、満願寺閘門、なし選果場
	内容・方法	木津切れ跡と洪水を防ぐために設置された満願寺閘門などを訪ね、水害と治水を考えた。また、県有形文化財に指定されている賀茂神社の大ケヤキを見学した。	
5	9月27日(土) 10:00~12:00	水環境の整備「つうくり市民会議」の運動に学ぶ	通船川・栗の木川下流再生市民会議 会長 大熊 孝
	内容・方法	平成9年改正河川法では河川環境の整備と保全も目的に加えられ、住民意見が取り入れられることになった。全国に先駆けて平成10年に新潟で立ち上げられた「つうくり市民会議」の事業展開について学ぶ	
6	10月4日(土) 14:00~16:00	水辺の宝づくり~亀田郷環境再生構想から学ぶ~	亀田郷土地改良区 事務局長 藤井 大三郎
	内容・方法	水辺の宝づくり事業をとおして、豊かな農村と都市の交流を促進し、自然と共生できる環境実現のための取組を紹介する。	

成果 ・ 今回初めて、市生涯学習センターと連携して事業を企画したことにより、多様な講師を依頼することができた。内容も水をキーワードに歴史や自然との共生の理解と関心を高められ充実したものになった。受講生は市内広域から参加があった。現地学習は1回だけだったが、事前学習の後の実施だったので、講義だけでは得られないものもあり効果的だった。

課題 ・ 今回は水が中心の内容になったが、文化や人物、暮らしなどからも郷土についての学習は必要なので、継続して実施していかなければならない。さらに、受講生が自発的に郷土のことを学習し、郷土を愛する気持ちを培い、その成果を地域づくりに活かしてくれるような働きかけの仕方が重要である。

問合せ先 新潟市亀田地区公民館(担当 中林) TEL: 025-382-3703/FAX: 025-385-8855